

森鴎外 没後150周年



2022年7月で森鴎外没後150周年となりました。県立図書館で所蔵する関連資料をご紹介します。

□森鴎外（1862～1922）略歴　（参考:『日本大百科全書　23』（小学館 1988））

石見国（島根県）津和野藩代々の御典医の家に生まれる。本名、林太郎。東京大学医学部卒業後、陸軍省に入り軍医となる。ドイツに留学した4年間で衛生学を学ぶと同時に、多くの文学書に親しんだ。帰国後は旺盛なジャーナリズム活動を展開しながら、『舞姫』『うたかたの記』『文づかひ』の雅文三部作を発表して新風を巻き起こしたほか、ドイツ美学やアンデルセンの『即興詩人』を翻訳。陸軍省医務局長に就任後も、『青年』『雁』等の現代小説、『阿部一族』『山椒大夫』『高瀬舟』等の歴史小説を次々に発表。さらに『渋江抽斎』等の史伝も残した。萎縮腎と肺結核により60歳で死去。作家、医師として名声を得ただけでなく、ジャーナリズム、評論、翻訳、歴史研究など多方面で業績を残した人物であった。

■ 著作

書名	出版者	請求記号	資料コード
★鴎外全集　全38巻	岩波書店	918/ﾓ.1/5-1~38	
雁	岩波書店	080/89/942	1104660558
山椒大夫	岩波書店	080/89/951	1104660566
即興詩人 上・下巻	岩波書店	949/ｱﾝ/1 949/ｱﾝ/2	2100073168 2100076849

■評伝

書名	編著者名	請求記号	資料コード
評伝森鴎外	山崎國紀／著	910.268/988	1105164246
森鴎外　日本はまだ普請中だ	小堀桂一郎／著	910.268/1399	1105750648
森鷗外 (よみがえる天才)	海堂尊／著	080/118/399	1106471848

■ 現代語訳・研究書・そのほか関連資料

網掛け の資料は館内でご覧ください。

鷗外・ドイツみやげ三部作	森鷗外／著， 荻原雄一／現代語訳	913/ﾓ.1/12	1106149030
即興詩人　口語訳	アンデルセン／原作，森鴎外／文語訳，安野光雅／口語訳	949.7/68	1105463127
医師としての森鴎外	伊達一男／著	910.26/1276	1101624557
森鴎外の翻訳文学	長島要一／著	910.26/2706	1103504443
闘ふ鷗外、最後の絶叫	西村正／著	910.26/3945	1106413907
森鷗外事典	平川祐弘／編	910.268/1803	1106303504
晩年の父	小堀杏奴／著	914/ｺ.5/5	1101489738

本リストの資料は、4階公開資料室の展示コーナー（「展４」）にあります。（★の資料は一部のみあります。）
また、本リスト以外にも多数の資料があります。資料検索でお調べいただくか、職員にお尋ねください。